

## 「梅屋庄吉と孫文」講演会を行いました！

1月27日（金）に、長崎県文化振興・世界遺産課主催の「梅屋庄吉と孫文」講演会を行いました。対面とオンラインのハイブリッド形式で実施し、中学校全学年、高1、高2を合わせ約900人が拝聴しました。

講師に、梅屋庄吉の曾孫で日比谷松本楼代表取締役社長の小坂文乃様をお招きし、梅屋庄吉と孫文の友情や梅屋庄吉の信条、国際交流に必要なことについて、お話をいただきました。

梅屋と孫文の生い立ちと出会いまでには、梅屋は14歳で上海に、孫文は12歳でハワイに渡り広い視野をもっていた共通点があったことや、孫文と宋慶齡の仲を取り持ち結婚に導くなど深い関係を持っていたことを紹介されました。

小坂様は、講演の最後に「国際交流で大切なのは目的を持つことと、語学以外にも自分の国や自分自身を語れることで、そのためには文化・歴史を学び、他国の習慣を受け入れる柔軟さも必要です」と話されていました。



↑視聴覚室での小坂様の講演



↑小坂様の講演を聴く生徒



↑郷土研究部による梅屋庄吉の考察発表



↑小坂様との対話会

講演会の後、郷土研究部と高2の中国語選択者14名が小坂様と対話会を行いました。

郷土研究部が『梅屋庄吉の資質』と題し、梅屋庄吉の豪胆で正義感に満ちた人物像や、梅屋庄吉と孫文との間の、互いに相求める必要がない「真朋友」の関係性などについてプレゼンテーションを行い、小坂様から講評をいただきました。その後、日本と中国の文化の壁についてや、日本人と中国人がお互いに仲良くしていくための取り組みについてなど、多くのことを質問し、小坂様との対話を通じて国際交流についての理解が深まりました。

生徒からは「梅屋庄吉について深く学ぶことができた。」「何事も背景があり、それに触れて何か自分で考えることが大事であることを再認識したので、これからの学びにつなげていきたい。」などの感想が寄せられました。

今回の講演会は、梅屋庄吉と孫文の友情から、これからの国際交流について考える貴重な機会となりました。